

# 活力ある明るい 豊かな町建設へ

## ＝33億6千万円＝

一般会計	21億3,771万8千円
国民健康保険	4億6,541万2千円
農業共済	5,565万5千円
企業会計	7億0,554万3千円

### 不況下でこそ積極策を

#### 町長施政方針から



我が国の経済の現状は、政府の相つゞ景気対策により緩やかな回復基調に転じてはおりますが、構造的な長期化、円高による悪影響等依然として極めて深刻かつ重大な局面が続いております。このよ

うな国内経済の動向並びに輸入拡大を迫る国際社会の要請に鑑み、政府は景気の速やかな回復と雇用の安定をはかるため、経済成長率実質7%達成目標に、公共事業を中心とした、いわゆる財政面からの景気回復策を考へて、国家予算編成が行われています。私は、このような情勢をふまえ、地方財政への影響を直視し、町政執行の基本姿勢として、

- 一、公平無私
  - 一、対話の町政
  - 一、明るい将来への確信
- をモットーに、町民に対する行政サービスの向上につとめ、諸施策を積極的に推進し、「健康で文化的な活力のある、明るい豊かな黒崎町」建設の実現にむかって全力を投じます。
- このために私は新年度予算の編成には、各種行政需要が増大する反面、不況による影響で、自主財源の大幅な伸びは期待できないので財源の補足を図りながら、経常的経費の節約につとめ、財源配分の重点化をはかり、行政機構の改善
- 生活環境の整備と充実
  - 農商工業の振興
  - 文教施設の充実
  - 住民福祉の増進
- を最重点施策として、予算編成に当たったものです。

### 高額療養資金を貸付け

#### 三ヶ月以内無利子で

みなさんの健康を守るため、今年も町医師会や医療機関と密接な連携をはかって、成人病検診や乳幼児の検診などを積極的にを行います。また、今年から国民健康保険の被保険者が高負担の療養をしなければならなくなった。その救済策として、三ヶ月以内無利子で療養費の貸付けを実施し、重病な

うえ高負担で悩む低所得者の救済を行います。



今年度の町の総予算は、一般会計、特別会計を合わせると、三億六千四三二万八千円と、今までかつてない大型予算です。この会計別内訳は、一般会計二億三千七七一萬八千円、国民健康保険四億六千五百四十一万二千円、農業共済五千五百五十五万五千円、企業会計が七億五千万四千円となっております。

### 行政機構を改善 公務能率をアップ

近年、行政需用が多様化してきていることから公務の能率と住民サービスの向上を図るため、昨年来、事務改善委員会を発足し、近郷市町村の行政運営の視察などを行い、みなさんの満足のいく行政の確立をはかるため、委員会等で検討を加えてきました。このたびようやくまとまり、新年度から新行政機構のもとで、期待にそえるような行政運営を進めていきます。

### 総合庁舎建設

#### へのステップ

#### 基金条例を制定

庁舎はすでにパンク寸前です。出先機関が増え、みなさんに不便をおかけしています。そこで総合庁舎建設の第一段階として建設基金条例を制定し五十年先を展望した「規模」「位置」を考え、計画、構想、立案には、プロジェクトチームを編成させ調査、研究を進めていきます。

### 生活道路改良、舗装に 2億円を投入

町の動脈、道路の改良、舗装に今年度は、二億二



### 善久2号線 踏切りに 警報機

踏切り事故が昨年は四件発生しており、従前から危険な箇所を警報機の設置を関係機関に再三再四要望してきましたが、今年度は善久二号線に設置を予定し、踏切り事故の安全につとめます。また、生命と財産を守るため、消火栓の新規設置や可搬式ポンプを導入し防火体制の整備や火災予防の啓蒙の強化を進めます。



### 農村環境の基盤を整備 事業指定へ全力投球

都市部に比較すると立ち遅れの目立つ農村の環境基盤を整備するため、国土庁、農林省が管轄する「農村総合整備事業計画」の指定を受けるため現在作業を進めております。この指定が受けられると、総事業費およそ二億円もの巨費で主に農村集落道路、農業用排水水路、集会所、耕地の再整備な

どを行い、都市近郊農村としてふさわしい環境造りが進められます。本町は特殊な地域に属し、近年は、住宅や工業開発が進み、農地が著しく侵食されている現状で、農業従事者の生産意欲と労働力の減退を防ぐためにも、是非とも指定していただくよう、関係省庁に強く働きかけていきます。

### 「米」消費拡大に 米飯給食 導入へ

昭和四十五年から続いた、米生産調整、今年から水田利用再編対策と銘打って、米の生産を抑制しほかの作物の生産を奨励し、過剰米生産対策を行うもので、今年の本町への割当て面積は、一〇〇ヘクタール(生産量は九千五百〇〇俵、政府売渡金に換算すると、およそ二億七千万円)が生産の抑制を受け、今年も極めて厳しい情勢

です。町では、国・県の講ずる施策のほかに、目標を達成するため、一〇〇ヘクタールにつき、五〇〇万円の助成を予算化し、また、米の消費拡大をはかるため、学校給食への米飯導入を早期に実施に移行するよう検討をすすめています。

### 専任の商工係を配置 指導体制を強化

商工業の振興をはかり、健全な経営が維持されるよう、講演会や各種セミナーなどを開き、経営者、従業者の専門的知識の向上を進め、また、産業育成資金、店舗改装資金の貸付枠の拡大、近代化資金の利子補給を増額し、景気の動向を重視した対策を講じていきます。今年から専任の商工係を配置して、指導、育成の強化をはかっています。